

# 2016 年度報告書

学校法人 京都薬科大学

〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5番地

電話 (075) 595-4600 (代表)

# 目 次

## I 2016 年度事業報告

### 1 法人の概要

|                         |   |
|-------------------------|---|
| (1) 建学の精神 .....         | 1 |
| (2) 学校法人の沿革 .....       | 1 |
| (3) 組織 .....            | 3 |
| (4) 系列の状況 .....         | 4 |
| (5) 役員に関する事項 .....      | 4 |
| (6) 評議員に関する事項 .....     | 4 |
| (7) 職員に関する事項 .....      | 5 |
| (8) 設置する学校、学部、学科等 ..... | 5 |

#### <大学>

|                              |    |
|------------------------------|----|
| (1) 薬学部薬学科 .....             | 6  |
| (2) 学生数の状況 .....             | 7  |
| (3) 学生数の推移 .....             | 8  |
| (4) 入学志願者数の推移 .....          | 8  |
| (5) 学位授与の状況 .....            | 8  |
| (6) 就職・進路の状況 .....           | 8  |
| (7) 薬剤師国家試験の推移 .....         | 9  |
| (8) 学生の就学支援（京都薬科大学奨学金） ..... | 10 |

#### <大学院>

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| (1) 大学院薬学研究科 .....               | 11 |
| (2) 大学院学生数の状況 .....              | 12 |
| (3) 大学院留学生の国別状況 .....            | 12 |
| (4) 大学院学生数の推移 .....              | 13 |
| (5) 大学院入学志願者数の推移 .....           | 13 |
| (6) 学位授与の状況 .....                | 13 |
| (7) 大学院学生就職・進路の状況 .....          | 14 |
| (8) 大学院学生海外留学の状況 .....           | 14 |
| (9) 大学院学生の就学支援（京都薬科大学奨学金他） ..... | 14 |

#### <その他 >

|                            |    |
|----------------------------|----|
| (1) 2016 年度の主な補助金の状況 ..... | 15 |
|----------------------------|----|

### 2 2016 年度事業の概要 .....

### 3 財務の概要

|                              |    |
|------------------------------|----|
| (1) 発行体格付け（旧長期優先債務格付け） ..... | 22 |
| (2) 財務概要経年比較 .....           | 22 |
| (3) 財務指標経年比較 .....           | 24 |
| (4) 財産目録 .....               | 25 |

|     |                       |    |
|-----|-----------------------|----|
| 4   | 理事会、常任理事会及び評議員会に関する事項 |    |
| (1) | 理事会                   | 26 |
| (2) | 常任理事会                 | 28 |
| (3) | 評議員会                  | 30 |

## II 2016 年度財務報告

|   |             |    |
|---|-------------|----|
| 1 | 資金収支計算書     | 31 |
|   | 資金収支内訳表     | 34 |
|   | 人件費支出内訳表    | 37 |
| 2 | 活動区分資金収支計算書 | 38 |
| 3 | 事業活動収支計算書   | 42 |
|   | 事業活動収支内訳表   | 44 |
| 4 | 貸借対照表       | 46 |
|   | 固定資産明細表     | 49 |
|   | 基本金明細表      | 50 |
| 5 | 財産目録        | 53 |
| 6 | 監査報告書       | 61 |

# I 2016 年度事業報告

# 1 法人の概要

## (1) 建学の精神

あい がく きゅう こう  
愛 学 躬 行

Philosophia et Praktikos

本学は、1884(明治17)年、京都府御雇ドイツ人教師、ルドルフ・レーマン先生の教えを受けた者18名が設立した京都私立独逸学校をその礎としています。

彼らはドイツ語を通じて西洋の医学、薬学の知識を修得しようとした愛学の徒です。その後本学は、1892(明治25)年に私立京都薬学校、1919(大正8)年に京都薬学専門学校を経て、1949(昭和24)年に京都薬科大学へと昇格しましたが、その建学の精神である「愛学躬行」は今に受け継がれています。

「愛学躬行」という言葉は、ラテン語の“Philosophia et Praktikos”を翻訳したもので、Philosophiaは「愛知」や「哲学」を意味する。Praktikosは「実践」や「躬行」を意味しています。躬行という言葉は「言ったことを自ら実際に行うこと」で有言実行に近いものです。

本学では「愛学躬行」の基となったラテン語の“Philosophia et Praktikos”という言葉を入校ホール正面に掲げ、本学の建学の精神として末永く伝えることとしています。

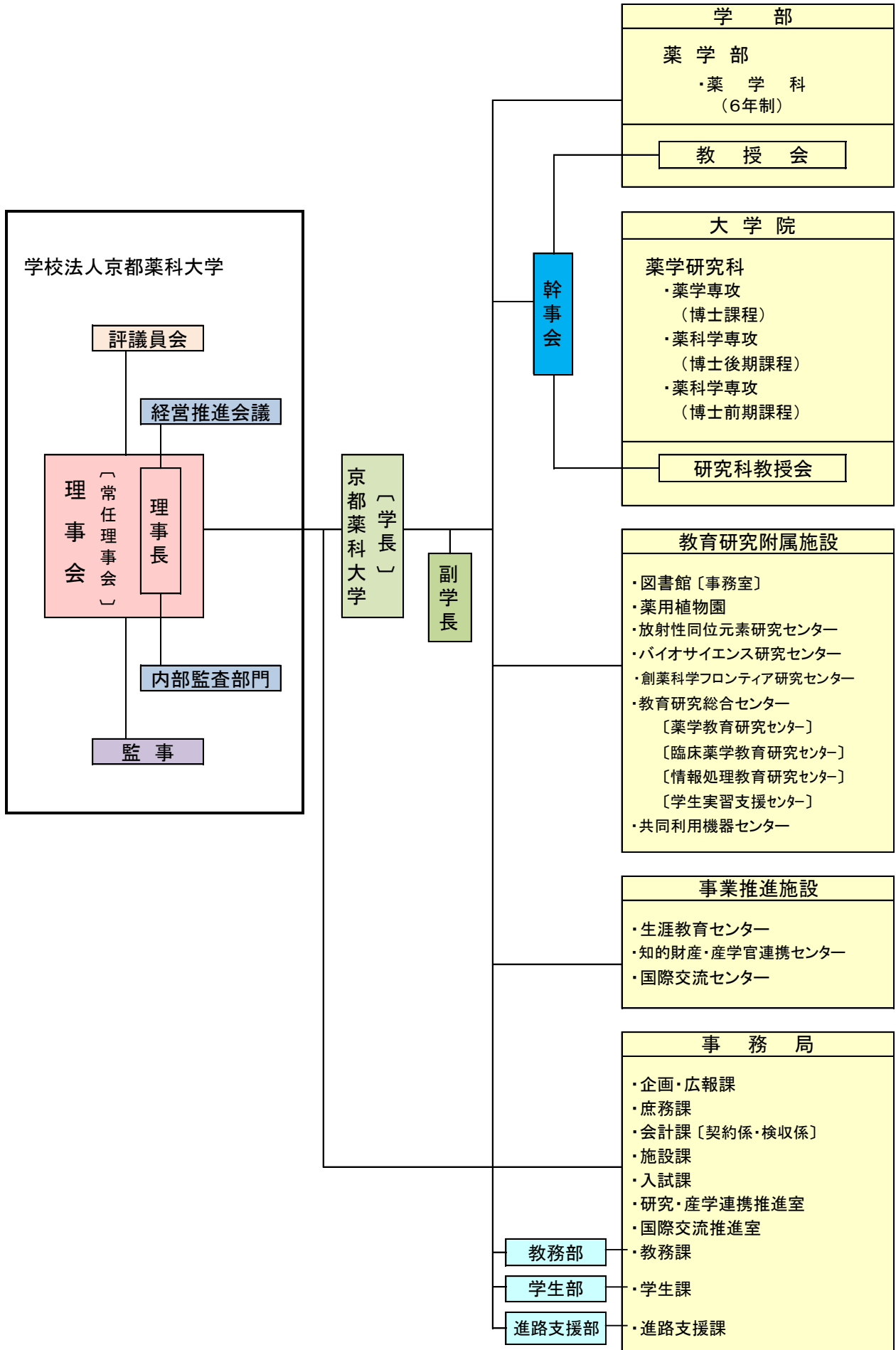
## (2) 学校法人の沿革

- 1884年 ドイツ人ルドルフ・レーマン博士に学んだ人々が協力して上京区（現在は中京区）  
富小路夷川下ルに京都私立独逸学校を創立 別科として薬学科を開設
- 1889年 校舎を上京区（現在は中京区）河原町三条上ルに移し、医学予備校を併置
- 1892年 薬学科を廃し、私立京都薬学校を設立
- 1898年 上京区（現在は左京区）夷川通川端東入ル秋築町に移転
- 1902年 医学予備校を廃止
- 1919年 専門学校令により京都薬学専門学校を設立、私立京都薬学校を廃止
- 1932年 東山区（現在は山科区）山科御陵中内町に校舎を新築し移転
- 1949年 学校教育法により「京都薬科大学」が認可
- 1951年 学校法人京都薬科大学を設立
- 1952年 京都薬学専門学校を廃止
- 1956年 東山区（現在は山科区）山科御陵中筋町に運動場を建設
- 1959年 図書館新築
- 1960年 旧南校舎（7号館）新築
- 1962年 薬学部製薬化学科増設
- 1964年 創立80周年記念事業の一環として2ヶ年計画で校舎の増改築を実施
- 1965年 東校舎（5号館）新築、1966年北校舎（4号館）、中校舎（6号館）新築
- 1965年 大学院薬学研究科修士課程設置
- 1968年 伏見区日野林に薬用植物園移転拡充
- 1970年 中央動物研究施設（動物研究センター）新築
- 1971年 山科区御陵四丁野町（本校地より南約50m）に新校地を購入
- 1972年 中央講堂兼体育館新築
- 1973年 南校舎（教養課程）新築、薬学部生物薬学科増設、3学科制となる  
実習研究棟（現育心館）建設
- 1974年 図書館書庫増築
- 1976年 製薬化学科、生物薬学科の入学定員増員
- 1977年 大学院薬学研究科博士後期課程設置
- 1979年 放射性同位元素研究センター（RIセンター）新築
- 1981年 大学ホール新築、中央動物研究施設（動物研究センター）改築
- 1983年 北西校舎（現教育研究総合センター）新築
- 1984年 創立100周年
- 1985年 創立100周年記念事業として滋賀県滋賀郡志賀町に蓬莱セミナーハウス新築

- 1986年 山科区御陵四丁野町（南校舎隣接地）に新校地を購入しテニスコート新設
- 1988年 創立100周年記念事業として生命薬学研究所（現S棟）新築
- 1993年 大学院薬学研究科修士課程入学定員増員
- 1995年 大学入試センター試験導入
- 1997年 臨床薬学研修センター、情報処理センターの設置
- 1999年 大学院修士課程に臨床薬学専攻設置、創薬科学フロンティア研究センター新築
- 2000年 本館、1号館取壊し
- 2001年 学生会館 Pavot（パボ）新築
- 2003年 創立120周年記念募金事業として愛学館3階に愛学ホール設置、7号館取壊し
- 2004年 創立120周年  
創立120周年記念事業（回顧写真展、物故者追悼式、ルドルフ・レーマン博士墓所修復）
- 2005年 創立120周年記念事業として愛学館新築  
創立120周年記念事業（愛学館竣工式・見学会、記念式典・祝賀会、  
「京薬のあゆみとともに」・「創立120周年記念誌」発刊、CD-ROM）  
薬学教育6年制の認可  
薬学6年制学生募集開始、薬学4年制課程学生募集停止
- 2006年 4・5号館取壊し  
薬学6年制課程設置
- 2007年 「京都薬科大学中期計画」の答申及び中期計画「躬行プラン」の推進  
臨床薬学教育研究センター新築  
2号館、RIセンター、大学ホールを取壊し、RIセンターは、南校地S棟に移転  
蓬莱セミナーハウス廃止
- 2008年 8号館一部取壊し
- 2009年 大学院薬科学専攻博士前期課程学生募集開始
- 2010年 躬行館新築  
大学院薬学専攻博士前期課程及び臨床薬学専攻修士課程学生募集停止  
大学院薬科学専攻博士前期課程設置  
6号館及び図書館取壊し  
8号館を改修し育心館に改称  
立体駐輪場新築
- 2011年 大学院薬学専攻博士課程及び薬科学専攻博士後期課程の学生募集開始  
生涯教育センター設置  
中央庭園完成  
奏楽館新築  
薬用植物園補助園完成  
立体駐輪場屋上に50kW太陽光発電設備設置
- 2012年 南校舎取壊し  
第2期中期計画の策定  
大学院薬学専攻博士課程及び薬科学専攻博士後期課程設置
- 2013年 バイオサイエンス研究センター竣工  
南校地テニス部・部室棟の建設
- 2014年 薬用植物園補助園温室新築  
グラウンド人工芝敷設完了  
創立130周年記念事業（記念式典・記念講演・祝賀会）  
南校地整備（厚生・実験棟の南風館新築、危険物・廃溶剤倉庫新築、警備員室新築、  
外構改修）
- 2015年 創立130周年記念館新築  
創立130周年記念館屋上に100kW太陽光発電設備設置
- 2016年 躬行館停電対応型コージェネレーション設備設置

(3) 組織

<2016年5月1日現在>



(4) 系列の状況

学校法人が株式を50%以上保有している、または、出資割合が50%以上の法人はありません。

(5) 役員に関する事項(2016年5月1日現在)

<理事：11人 監事：2人>

| 役職   | 氏名    | 選出区分 |
|------|-------|------|
| 理事長  | 武田 禮二 | 有識者  |
| 常任理事 | 後藤 直正 | 学長   |
| 常任理事 | 赤路 健一 | 副学長  |
| 常任理事 | 土屋 勝  | 評議員  |
| 常任理事 | 村澤 悟  | 有識者  |
| 理事   | 北出 達也 | 評議員  |
| 理事   | 中田 徹男 | 評議員  |
| 理事   | 森田 和子 | 評議員  |
| 理事   | 山口 泰秀 | 評議員  |
| 理事   | 大原 松雄 | 有識者  |
| 理事   | 人見 裕司 | 有識者  |
| 監事   | 松岡 史郎 | —    |
| 監事   | 村山猪一郎 | —    |

(6) 評議員に関する事項(2016年5月1日現在)

<評議員数：30人>

| 氏名    | 選出区分 |
|-------|------|
| 後藤 直正 | 学長   |
| 赤路 健一 | 副学長  |
| 秋葉 聡  | 職員   |
| 北出 達也 | 〃    |
| 長澤 一樹 | 〃    |
| 中田 徹男 | 〃    |
| 西口 工司 | 〃    |
| 安井 裕之 | 〃    |
| 神田 和正 | 卒業生  |
| 久米 光  | 〃    |
| 白木太一郎 | 〃    |
| 高美 時郎 | 〃    |
| 田中 正勝 | 〃    |
| 土屋 勝  | 〃    |
| 松井 常孝 | 〃    |
| 三河 忠宏 | 〃    |
| 宮川 克之 | 〃    |

| 氏名    | 選出区分 |
|-------|------|
| 森 新   | 卒業生  |
| 森田 和子 | 〃    |
| 山口 泰秀 | 〃    |
| 山下 節子 | 〃    |
| 山田 作夫 | 〃    |
| 大原 松雄 | 有識者  |
| 児玉 孝  | 〃    |
| 佐々木康夫 | 〃    |
| 武田 禮二 | 〃    |
| 田中 徳雄 | 〃    |
| 谷村 和治 | 〃    |
| 人見 裕司 | 〃    |
| 村澤 悟  | 〃    |



(7) 職員に関する事項 (2016年5月1日現在)

<職員数>

①教育職員： 111人  
(内訳)

| 職名  | 人数 |
|-----|----|
| 学長  | 1  |
| 副学長 | 1  |
| 教授  | 40 |
| 准教授 | 16 |
| 講師  | 17 |
| 助教  | 28 |
| 助手  | 8  |

②事務職員： 58人  
(内訳)

| 職名       | 人数 |
|----------|----|
| 事務局長     | 1  |
| 事務局参事    | 1  |
| 課長・主幹・補佐 | 11 |
| 係長・主査    | 10 |
| 主事       | 16 |
| 事務員      | 8  |
| 契約職員     | 4  |
| 契約事務職員   | 7  |

③役職者一覧

| 役職                | 氏名    |
|-------------------|-------|
| 学長                | 後藤 直正 |
| 副学長               | 赤路 健一 |
| 研究科長              | 赤路 健一 |
| 教務部長              | 秋葉 聡  |
| 学生部長              | 長澤 一樹 |
| 進路支援部長            | 栄田 敏之 |
| 図書館長              | 安井 裕之 |
| 事務局長              | 山下 馨  |
| 創薬科学フロンティア研究センター長 | 赤路 健一 |
| 共同利用機器センター長       | 赤路 健一 |
| 薬用植物園長            | 松田 久司 |
| 放射性同位元素研究センター長    | 後藤 直正 |
| バイオサイエンス研究センター長   | 山本 昌  |
| 薬学教育研究センター長       | 細井 信造 |
| 臨床薬学教育研究センター長     | 矢野 義孝 |
| 情報処理教育研究センター長     | 藤原 洋一 |
| 学生実習支援センター長       | 北出 達也 |
| 生涯教育センター長         | 北出 達也 |
| 知的財産・産学官連携センター長   | 後藤 直正 |
| 国際交流センター長         | 後藤 直正 |

(8) 設置する学校、学部、学科等

| 設置する学校    | 学部・学科等             |
|-----------|--------------------|
| 京都薬科大学大学院 | 薬学研究科 (薬学専攻、薬科学専攻) |
| 京都薬科大学    | 薬学部 (薬学科)          |

## <大学>

### 教育理念

本学は高度の教育及び学術研究機関として、薬学の教育及び研究を推進することにより、生命の尊厳を基盤として人類の健康と福祉に貢献することを教育理念とする。

### 教育目的

本学における教育は、医療・創薬・生命科学に関する幅広い専門知識に基づいた思考力と行動力、さらには豊かな教養と生命の尊厳を踏まえた高い倫理観を伴う人間性を兼備した薬剤師に必要な能力を身につけ、臨床領域をはじめ、創薬科学領域、学術・教育領域、保健・衛生領域等、多様な領域において活躍できる人材を育成することを目的とする。

## (1) 薬学部薬学科

### <ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）>

京都薬科大学は、教育理念および教育目的に基づき、また、「薬剤師として求められる基本的な資質」を踏まえ、Science（科学）、Art（技術）、Humanity（人間性）のバランスが取れた薬剤師である「ファーマシスト・サイエンティスト」の基本的な素養を身につける教育を行う。本学のカリキュラムにより所定の単位を修得し、ファーマシスト・サイエンティストとしての次の5つの素養を身につけた学生に学士（薬学）の学位を授与する。

1. 多様な医療関連分野において、基礎薬学および臨床薬学の知識・技術を統合的に活用できる。（科学・技術）
2. 問題発見・解決において、基礎薬学および臨床薬学の知識・技術を基に思考・実証できる。（科学・技術）
3. 社会での薬学的知識・技術の活用において、生命を尊重する倫理観および幅広い教養を基に他者の多様性に対応できる。（人間性）
4. 薬学的知識・技術を基に多職種連携を担ううえで、他職種との協働に対応できる。（人間性）
5. 自己研鑽し続け、医療の進歩への対応と後進の育成に臨む意欲と行動力を有している。（科学・技術・人間性）

薬剤師免許を取得した本学卒業生は、ファーマシスト・サイエンティストの基本的な素養を身につけた薬剤師として、臨床領域をはじめ、創薬科学産業領域、学術・教育領域、保健・衛生領域等、医療に関連する多様な領域において、新たな活力となることが期待される。

### <カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）>

京都薬科大学は、ファーマシスト・サイエンティストとしての素養を身につける教育を行うため、次の方針を基に体系的なカリキュラムを編成・実施する。

カリキュラムの編成においては、学生がディプロマ・ポリシーに掲げた5つの素養を修得するために、基礎的な知識・技術・態度の修得にはじまり、これらを統合して思考・表現する能力、さらには、活用して行動する実践力の順に、年次進行的に身につける系統的なカリキュラムの編成を基本方針とする。

この編成方針に基づいたカリキュラムにおける学修内容は、「薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）」に準拠し、「薬学準備教育ガイドライン」、「薬学アドバンス教育ガイドライン」、「薬学実務実習に関するガイドライン（平成27年2月）」を踏まえて設定することを基本とする。これらに本学独自の学修内容を加え、5つの各素養を身につけるための学修内容を以下の各方針に基づいて授業科目群として順次性をもって編成し、各授業科目に応じた到達目標・学修内容・評価方法を設定することによってカリキュラムを実施する。

#### 1. 専門的実践力の養成（科学・技術）

初年次における薬学準備教育の充実により、高等学校と大学との知識を連結させ、薬学への関心を高める。「薬学教育モデル・コアカリキュラム」を基本とした、本学独自の学修内容で体系的に薬学を学ぶことにより、高度な知識、統合的な思考力、技術、態度を身につけ、医療を通じて人に奉仕し、社会に貢献できる能力を育む。

#### 2. 研究的思考・実践力の養成（科学・技術）

総合薬学研究（卒業論文研究）において、最先端の科学に接することにより、4年次までに培った統合的な思考力と技術をさらに高め、これらを基盤とした問題発見・解決能力を養成する。さらに5年次

より探求薬学コースあるいは実践薬学コースへのコース選択により、専門性を深化させその領域において創造性を発揮できる能力を育む。

### 3. 教養・倫理観・多様性への配慮を伴う人間性の醸成（人間性）

他者に対する興味・関心を高めるために、初年次から教養教育および語学教育を充実させ、幅広い教養と視野を身につけ、医療に関わる専門家として、より深く他人を思いやる心と生命を尊重する倫理観を育む。

### 4. 多様性の中での協働力の養成（人間性）

初年次におけるアクティブラーニング的な学習形態を取り入れた少人数教育（早期体験学習、基礎演習）等を発端とし、総合薬学研究における分野等での他者との協働活動や実務実習において様々なニーズをもつ人々と接することで、実践的コミュニケーション能力を高め、医療機関や地域におけるチーム医療を始めとする様々な環境や職域において活躍できる能力を育む。

### 5. 自己研鑽意欲と教育意欲の醸成（科学・技術・人間性）

総合薬学研究における分野等での研究活動を通じて、自ら答を見つけることの困難さを実感し、日々進歩する医療に対応するために常に自己研鑽する意欲と態度を身につけ、他者に対し指導や議論、プレゼンテーションをすることにより、後進を育成する意欲や行動力を育む。

この方針を基に編成したカリキュラムの全体像を示すカリキュラムマップおよび個々の授業計画（到達目標・学修内容・評価方法）をシラバスに記載する。

## <アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）>

京都薬科大学は、「愛学躬行」を建学精神とし、Science（科学）、Art（技術）、Humanity（人間性）を兼ね備え、医療・創薬・生命科学の発展に貢献できる薬剤師の養成を目指している。入学者は本学の建学精神や教育理念・教育目的をよく理解し、薬学を学ぶことに強い熱意をもって学士（薬学）に求められる素養を身につけることが要求される。そのために以下の能力を備えた者を、各種選抜試験を通して入学させる。

1. 理科や数学などの基礎科学に加え、英語力など、薬学を学ぶ上で必要な、幅広くバランスの取れた知識や技能を有している。（知識・技能）
2. 論理的に思考・表現し、自らの考えを的確に他者に伝えることができる。（思考力・判断力・表現力）
3. 自ら進んで物事の課題や問題点を考え、解決するために努力できる。（主体性）
4. 思いやりと協調性を持ち、他者と円滑にコミュニケーションをとることができる。（協働態度）

## (2) 学生数の状況（2016年5月1日現在）

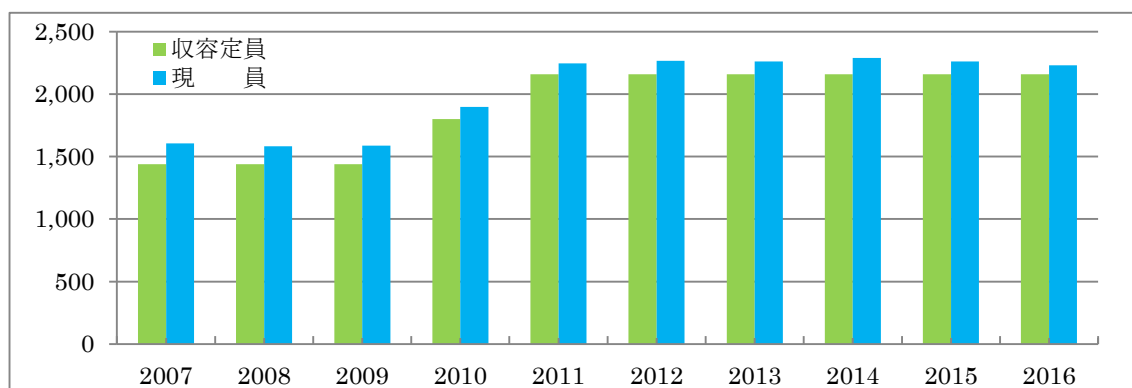
| 区分         | 年次   | 定員    | 現員    | 男(比率)      | 女(比率)        |
|------------|------|-------|-------|------------|--------------|
| 薬学部<br>薬学科 | 1年次生 | 360   | 384   | 123(32.0%) | 261(68.0%)   |
|            | 2年次生 | 360   | 390   | 150(38.5%) | 240(61.5%)   |
|            | 3年次生 | 360   | 375   | 117(31.2%) | 258(68.8%)   |
|            | 4年次生 | 360   | 356   | 114(32.0%) | 242(68.0%)   |
|            | 5年次生 | 360   | 333   | 101(30.3%) | 232(69.7%)   |
|            | 6年次生 | 360   | 394   | 128(32.5%) | 266(67.5%)   |
|            | 計    | 2,160 | 2,232 | 733(32.8%) | 1,499(67.2%) |

## <参考> 2017年度学部新生の人数（2017年4月3日現在）

| 年次    | 定員  | 現員  | 男(比率)      | 女(比率)      |
|-------|-----|-----|------------|------------|
| 新1年次生 | 360 | 373 | 108(29.0%) | 265(71.0%) |

(3) 学生数の推移 (2016年5月1日現在)

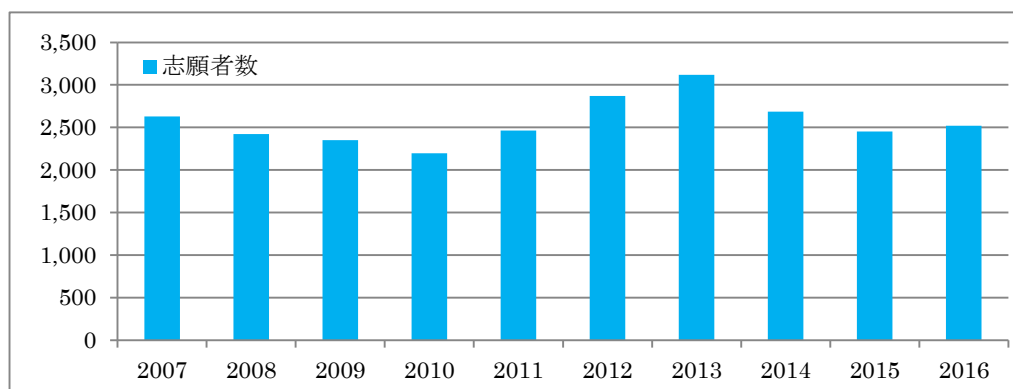
| 年度   | 2007  | 2008  | 2009  | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  | 2015  | 2016  |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 収容定員 | 1,440 | 1,440 | 1,440 | 1,800 | 2,160 | 2,160 | 2,160 | 2,160 | 2,160 | 2,160 |
| 現員   | 1,607 | 1,583 | 1,587 | 1,899 | 2,246 | 2,266 | 2,263 | 2,290 | 2,263 | 2,232 |



(4) 入学志願者数の推移

| 年度*  | 2007  | 2008  | 2009  | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  | 2015  | 2016  |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 志願者数 | 2,630 | 2,421 | 2,352 | 2,197 | 2,462 | 2,870 | 3,118 | 2,687 | 2,453 | 2,521 |

\* 年度は、入学試験を実施した年度 (例：年度「2016」は、2016年度に実施した2017年度入学試験の志願者数)



(5) 学位授与の状況 (2017年3月卒業者)

| 区分 | 人数  |
|----|-----|
| 学士 | 360 |

(6) 就職・進路の状況 (2017年3月卒業者<2017年3月31日時点>)

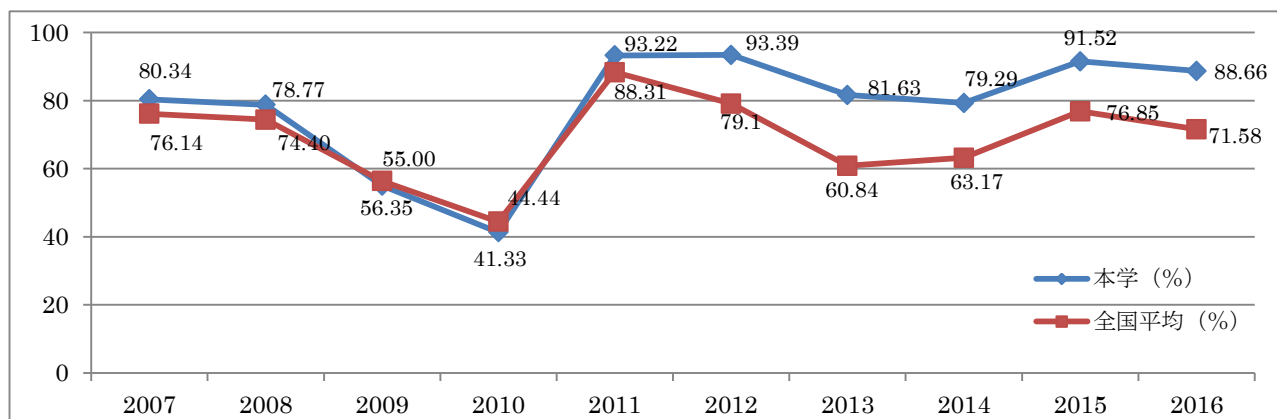
| 区分        | 人数  | 割合(%) | 区分    | 人数  | 割合(%) |     |
|-----------|-----|-------|-------|-----|-------|-----|
| 製薬企業等     | 105 | 29.2  | 研究機関  | 1   | 0.3   |     |
| 薬局・医薬品販売業 | 113 | 31.4  | 進学    | 本学  | 9     | 2.5 |
| 病院等       | 90  | 25.0  |       | 他大学 | 6     | 1.7 |
| 大学病院研修生   | 1   | 0.3   | 本学研修員 | 9   | 2.5   |     |
| 国家公務員     | 1   | 0.3   | その他   | 5   | 1.3   |     |
| 地方公務員     | 20  | 5.5   |       |     |       |     |
| 合計        |     |       |       | 360 | 100.0 |     |

## (7) 薬剤師国家試験の推移

### <総 数>

| 年 度    | 2007  | 2008  | 2009  | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  | 2015  | 2016  |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 出願者数   |       |       |       |       |       |       |       |       | 494   | 435   |
| 受験者数   | 473   | 471   | 160   | 75    | 339   | 378   | 343   | 425   | 448   | 397   |
| 合格者数   | 380   | 431   | 88    | 31    | 316   | 353   | 280   | 337   | 410   | 352   |
| 合格率(%) | 80.34 | 78.77 | 55.00 | 41.33 | 93.22 | 93.39 | 81.63 | 79.29 | 91.52 | 88.66 |

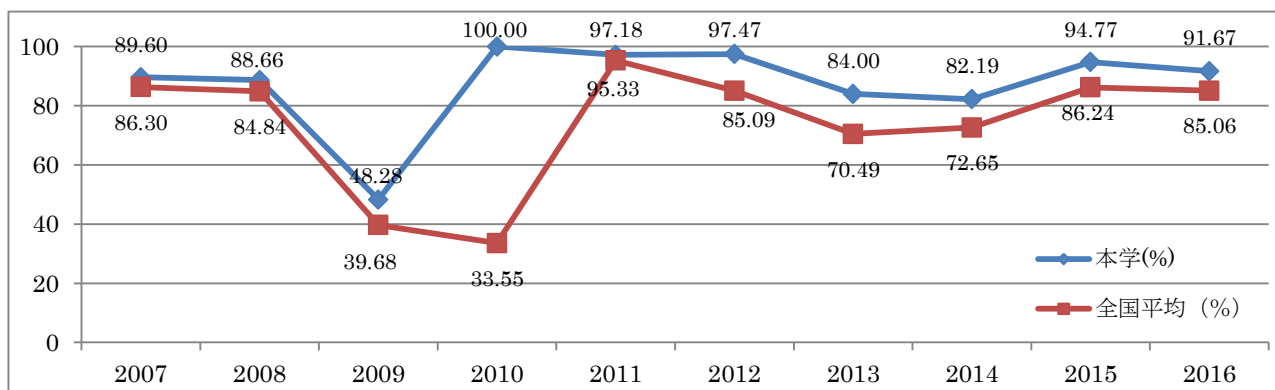
### [合格率の推移]



### <新 卒>

| 年 度    | 2007  | 2008  | 2009  | 2010   | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  | 2015  | 2016  |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 出願者数   |       |       |       |        |       |       |       |       | 401   | 391   |
| 受験者数   | 346   | 344   | 29    | 2      | 319   | 356   | 325   | 365   | 363   | 360   |
| 合格者数   | 310   | 305   | 14    | 2      | 310   | 347   | 273   | 300   | 344   | 330   |
| 合格率(%) | 89.60 | 88.66 | 48.28 | 100.00 | 97.18 | 97.47 | 84.00 | 82.19 | 94.77 | 91.67 |

### [新卒合格率の推移]



### <既 卒>

| 年 度    | 2007  | 2008  | 2009  | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  | 2015  | 2016  |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 出願者数   |       |       |       |       |       |       |       |       | 76    | 31    |
| 受験者数   | 127   | 127   | 131   | 73    | 20    | 22    | 18    | 60    | 73    | 29    |
| 合格者数   | 70    | 66    | 74    | 29    | 6     | 6     | 7     | 37    | 63    | 22    |
| 合格率(%) | 55.12 | 51.97 | 56.49 | 39.73 | 30.00 | 27.27 | 38.89 | 61.67 | 86.30 | 75.86 |

(8) 学生の就学支援（京都薬科大学奨学金）

① 京都薬科大学奨学金制度

| 制度の種類             |   | 対象者  | 金額               | 募集人数               | 選考方法   |
|-------------------|---|--|------------------|--------------------|--|
| 給付型奨学金            | 入試成績優秀者                                 | 新入生<br>(入試成績優秀者)   | 半期授業料の1/2<br>相当分 | 約10名               | 入学試験の成績                                      |
|                   | 成績優秀者                                   | 2年次生～6年次生<br>(成績優秀者)   | 5～20万円           | 各学年<br>約15名        | 前年次の学業成績<br>6年次生については、<br>入学から前年次までの<br>通算成績 |
|                   | 研究・課外活動<br>優秀者                          | 研究・課外活動において、<br>顕著な実績又は成果を挙げ<br>た学生                                    |                  | 約10名               | 書類選考及び面接                                     |
|                   | 遠隔地出身学生                                 | 1年次生～4年次生で近畿<br>2府4県以外に自宅があり、<br>下宿生活をしている<br>成績優秀者（2015年度入<br>学生から適用） | 60万円<br>(月額5万円)  | 各学年<br>約10名        | 入学試験又は前年度<br>の成績及び面接                         |
| 授業料減免型奨学金         | 家計における経済的な事情<br>により授業料の支払いが<br>困難となった学生 | 半期授業料の減免   | 約30名             | 家計状況より判断           |  |
| 貸与型奨学金<br>(無利子貸与) | 授業料の支払いが困難な学<br>生                       | 年額授業料の1/2<br>以内  | 約10名             | 学業成績及び家計状<br>況から判断 |  |

② 2016年度の奨学金実績（人数）

| 制度の種類             | 学年 |    |    |    |    |    | 計   |
|-------------------|----|----|----|----|----|----|-----|
|                   | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |     |
| 貸与型奨学金            | 1  | 1  | 1  | 1  | 0  | 0  | 4   |
| 授業料減免型奨学金         | 4  | 0  | 1  | 8  | 5  | 2  | 20  |
| 給付型奨学金            | 10 | 20 | 20 | 20 | 20 | 21 | 111 |
| 遠隔地出身学生<br>給付型奨学金 | 10 | 10 | 0  | 0  | 0  | 0  | 20  |
| 合計                |    |    |    |    |    |    | 155 |

## <大学院>

### (1) 大学院薬学研究科

#### 教育理念

薬学の教育及び研究をより一層推進することにより、学術研究の高度化とともに、生命の尊厳を基盤として人類の健康と福祉に貢献することを教育理念とします。

#### 教育目的

高度な薬学の知識と研究能力を身につけ、基礎薬学系及び臨床薬学系の様々な薬学の分野で自立した研究活動を行うことができ、かつ、国際的貢献できる有用な人材を育成します。

## <ディプロマ・ポリシー>

### 薬学専攻博士課程

本課程のカリキュラムにより、基礎薬学あるいは臨床薬学における高度な学識と研究能力を身につけ、所定の単位を修得し、かつ、独創的研究に基づく博士論文を提出し、研究科教授会が実施する最終試験に合格した学生に学位（博士（薬学））を授与します。学位授与の基準は下記のとおりです。

1. 薬学の様々な学術分野における高度な専門的知識と独創的な研究能力を有すること（基礎薬学研究者）
2. 医療に関する高度な専門的知識と臨床薬学研究能力を有すること（臨床薬学研究者、臨床薬剤師）
3. 高度な研究能力を有する医療人としての豊かな教養及び高い倫理観並びに協調性を有すること
4. 国際的に活躍できる専門性と語学力を有すること

なお、博士の学位は、本学に博士論文を提出してその審査に合格し、かつ、博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認した者にも授与します。

### 薬科学専攻博士前期課程

本課程のカリキュラムにより、様々な薬学の分野で高度な学識と研究能力を身につけ、所定の単位を修得し、かつ、修士論文を提出し、研究科教授会が実施する最終試験に合格した学生に学位（修士（薬科学））を授与します。学位授与の基準は下記のとおりです。

1. 創薬科学や生命科学などの基盤的学術分野における専門的知識と技能を修得していること
2. 薬学研究者としての豊かな教養及び高い倫理観を有すること

### 薬科学専攻博士後期課程

本課程のカリキュラムにより、様々な薬学の分野で高度な学識と研究能力を身につけ、所定の単位を修得し、かつ、独創的研究に基づく博士論文を提出し、研究科教授会が実施する最終試験に合格した学生に学位（博士（薬科学））を授与します。学位授与の基準は下記のとおりです。

1. 創薬科学や生命科学などの基盤的学術分野における高度な専門的知識と独創的な研究能力を有すること
2. 高度な研究能力を有する薬科学研究者としての豊かな教養及び高い倫理観並びに協調性を有すること
3. 国際的に活躍できる専門性と語学力を有すること

なお、博士の学位は、本学に博士論文を提出してその審査に合格し、かつ、博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認した者にも授与します。

## <カリキュラム・ポリシー>

### 薬学専攻博士課程

基礎薬学及び臨床薬学研究を推進できる人材の養成を目指す。本課程は「基礎薬学コース」と「臨床薬学コース」から成っており、特論講義、総合薬学セミナー及び薬学研究演習を通じて、医療及び薬学の様々な学術分野における高度な専門知識と独創的な研究能力を身につけ、国際的に活躍できる臨床薬剤師並びに創薬及び臨床医薬品開発などの場で活躍できる基礎薬学研究者・臨床薬学研究者を養成する教育課程となっている。また、「がん薬物療法を専門とする薬学研究者養成コース」も設置しており、がん薬物療法について深い知識と臨床経験を有し、先端がん研究の発展に貢献できる薬学研究者の養成を目指す。

### 薬科学専攻博士前期課程

4年制学部を基礎とする薬科学専攻修士課程であり、創薬科学及び生命科学などの基礎薬学の基盤的・先端的な専門知識と技能を修得し、独創的な創薬研究を担うための能力を養い、後続する博士後期

課程において独創的な研究を実施するための訓練期間も兼ねている。教育内容は、特論講義、公開セミナー、演習及び課題研究により構成されます。

#### 薬科学専攻博士後期課程

創薬科学や生命科学などの基礎薬学領域における研究を推進できる独創的な研究能力と学識を有し、国際的に活躍できる高度な研究者の養成を目指すとともに、課題研究、総合薬学セミナー及び薬科学研究演習などを通して、薬科学研究者を養成します。

#### <アドミッション・ポリシー>

##### 薬学専攻博士課程

本専攻は 6 年制学部を基礎とする博士課程であり、薬学の様々な学術分野における高度な専門的学識と独創的な研究能力を有した基礎及び臨床薬学研究者並びに臨床薬剤師の養成を目的としています。また、医薬品開発全般を統括できる人材の養成や専門薬剤師の育成も支援します。このため、薬学関連の学術分野への研究志向をもち、知的好奇心に満ち柔軟な思考能力を有する創造力あふれる学生を求めます。

本専攻は、薬学専攻の特性と社会的要請を考慮し 6 年制薬学卒業者を主な募集対象としますが、薬剤師資格を有する 24 歳以上の旧 4 年制薬学卒業者及び海外の薬学系又は理科系修士課程修了者も対象として国内外に人材を募ります。

##### 薬科学専攻博士前期課程・後期課程

本専攻は、4 年制学部を基礎とする 2 年制博士前期課程と 3 年制博士後期課程から成り、創薬科学あるいは生命科学などの基盤的学術分野における高度な研究能力を有する薬科学研究者の養成を目的としています。また、医薬品開発全般を統括できる人材の育成も支援します。このため、薬科学関連の学術分野への研究志向をもち、知的好奇心に満ち柔軟な思考を有する創造力あふれる学生を求めます。

本専攻は、薬科学専攻の特性と社会的要請を考慮し、前期課程は他大学・他学部の卒業生あるいは社会人や留学生を主な募集対象とし、後期課程は薬学系又は理科系博士前期課程・修士課程修了生及び社会人や留学生も対象として国内外に人材を募ります。

#### (2) 大学院学生数の状況 (2016 年 5 月 1 日現在)

| 区 分        |      | 年 次   | 定 員 | 現 員 | 男(比率)     | 女(比率)     |
|------------|------|-------|-----|-----|-----------|-----------|
| 薬学専攻       | 博士   | 1 年次生 | 10  | 16  | 7         | 9         |
|            |      | 2 年次生 | 10  | 11  | 8         | 3         |
|            |      | 3 年次生 | 10  | 10  | 7         | 3         |
|            |      | 4 年次生 | 10  | 6   | 3         | 3         |
| 薬科学<br>専 攻 | 博士前期 | 1 年次生 | 5   | 1   | 1         | 0         |
|            |      | 2 年次生 | 5   | 0   | 0         | 0         |
|            | 博士後期 | 1 年次生 | 2   | 4   | 2         | 2         |
|            |      | 2 年次生 | 2   | 4   | 1         | 3         |
|            |      | 3 年次生 | 2   | 4   | 3         | 1         |
| 計          |      |       | 56  | 56  | 32(57.1%) | 24(42.9%) |

#### (3) 大学院留学生の国別状況 (2016 年 5 月 1 日現在)

| 国         | 男 | 女 | 計  |
|-----------|---|---|----|
| 中国        | 3 | 1 | 4  |
| タイ        | 1 | 0 | 1  |
| バングラディッシュ | 2 | 1 | 3  |
| シリア       | 1 | 1 | 2  |
| エジプト      | 0 | 1 | 1  |
| 合計        | 7 | 4 | 11 |



## (4) 大学院学生数の推移 (2016年5月1日現在)

| 年度   | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 収容定員 | 188  | 188  | 188  | 111  | 34   | 48   | 50   | 54   | 56   | 56   |
| 現員   | 207  | 208  | 234  | 134  | 42   | 42   | 38   | 43   | 45   | 56   |

## (5) 大学院入学志願者数の推移

## ①薬学専攻博士課程 (4年制)

| 年度    | 志願者数 |      |      |    | 合格者数 |      |      |    | 入学者数 |      |      |    |
|-------|------|------|------|----|------|------|------|----|------|------|------|----|
|       | 夏季募集 | 冬季募集 | 秋季入学 | 計  | 夏季募集 | 冬季募集 | 秋季入学 | 計  | 夏季募集 | 冬季募集 | 秋季入学 | 計  |
| 2017年 | 10   | 2    | —    | 12 | 10   | 2    | —    | 12 | 8    | 2    | —    | 10 |
| 2016年 | 7    | 8    | 3    | 18 | 6    | 8    | 3    | 17 | 6    | 8    | 3    | 17 |
| 2015年 | 8    | 3    | 2    | 13 | 8    | 3    | 2    | 13 | 8    | 3    | 2    | 13 |
| 2014年 | 5    | 4    | 0    | 9  | 5    | 4    | 0    | 9  | 5    | 4    | 0    | 9  |
| 2013年 | 5    | 2    | 1    | 8  | 5    | 2    | 1    | 8  | 5    | 2    | 1    | 8  |
| 2012年 | 10   | 1    | 0    | 11 | 10   | 1    | 0    | 11 | 9    | 1    | 0    | 10 |

## ②薬科学専攻博士後期課程 (3年制)

| 年度    | 志願者数 |      |      |   | 合格者数 |      |      |   | 入学者数 |      |      |   |
|-------|------|------|------|---|------|------|------|---|------|------|------|---|
|       | 夏季募集 | 冬季募集 | 秋季入学 | 計 | 夏季募集 | 冬季募集 | 秋季入学 | 計 | 夏季募集 | 冬季募集 | 秋季入学 | 計 |
| 2017年 | 0    | 0    | —    | 0 | 0    | 0    | —    | 0 | 0    | 0    | —    | 0 |
| 2016年 | 0    | 2    | 1    | 3 | 0    | 2    | 1    | 3 | 0    | 2    | 1    | 3 |
| 2015年 | 0    | 4    | 2    | 6 | 0    | 4    | 2    | 6 | 0    | 4    | 2    | 6 |
| 2014年 | 2    | 0    | 0    | 2 | 2    | 0    | 0    | 2 | 2    | 0    | 0    | 2 |
| 2013年 | 1    | 2    | 2    | 5 | 1    | 2    | 2    | 5 | 1    | 2    | 2    | 5 |
| 2012年 | 1    | 3    | 0    | 4 | 1    | 3    | 0    | 4 | 1    | 3    | 0    | 4 |

## ③薬科学専攻博士前期課程 (2年制)

| 年度          | 志願者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|-------------|------|------|------|
| 2017年(二次募集) | 1    | 0    | 0    |
| 2017年       | 1    | 0    | 0    |
| 2016年(二次募集) | 1    | 1    | 1    |
| 2016年       | 0    | 0    | 0    |
| 2015年(二次募集) | 0    | 0    | 0    |
| 2015年       | 0    | 0    | 0    |
| 2014年(二次募集) | 2    | 2    | 2    |
| 2014年       | 0    | 0    | 0    |
| 2013年(二次募集) | 1    | 1    | 1    |
| 2013年       | 3    | 3    | 3    |

## (6) 学位授与の状況 (2016年度)

| 区分             | 博士 |
|----------------|----|
| 大学院薬学研究科 薬学専攻  | 5  |
| 大学院薬学研究科 薬科学専攻 | 3  |

(7) 大学院学生就職・進路の状況 (2017年3月修了者<2017年3月31日時点>)

①薬学専攻博士課程

| 区分        | 人数 | 割合(%) |
|-----------|----|-------|
| 薬局・医薬品販売業 | 1  | 20.0  |
| 病院等       | 2  | 40.0  |
| 大学等       | 2  | 40.0  |
| 合計        | 5  | 100.0 |

②薬科学専攻博士前期課程

修了生なし

③薬科学専攻博士後期課程

| 区分    | 人数 | 割合(%) |
|-------|----|-------|
| 製薬企業等 | 2  | 100.0 |
| 合計    | 2  | 100.0 |

(8) 大学院学生海外留学の状況

| 留学先                         | 国  | 人数 |
|-----------------------------|----|----|
| Washington State University | 米国 | 1  |

(9) 大学院学生の就学支援 (京都薬科大学奨学金他)

①京都薬科大学奨学金制度

| 制度の種類             | 対象者                             | 金額           | 募集人数      | 選考方法           |
|-------------------|---------------------------------|--------------|-----------|----------------|
| 給付型奨学金            | 大学院新入生                          | 入学年度の半期授業料相当 | 約3名       | 入学試験の成績、面接及び試問 |
| 授業料減免型奨学金         | 家計における経済的な事情により授業料の支払いが困難となった学生 | 半期授業料相当分     | 約3名       | 家計状況から判断       |
| 貸与型奨学金<br>(無利子貸与) | 授業料の支払いが困難な学生                   | 年額授業料の範囲内    | 学部生含め約10名 | 学業成績及び家計状況から判断 |

②2016年度の奨学金実績 (人数)

| 制度の種類  | 専攻・課程 |        | 学年 |   |   |   | 計 |
|--------|-------|--------|----|---|---|---|---|
|        |       |        | 1  | 2 | 3 | 4 |   |
| 給付型奨学金 | 薬学専攻  | 博士課程   | 3  | 0 | 0 | 0 | 3 |
|        | 薬科学専攻 | 博士前期課程 | 0  | 0 | — | — | 0 |
|        |       | 博士後期課程 | 0  | 0 | 0 | — | 0 |
| 合計     |       |        |    |   |   |   | 3 |

③教育補助・研究補助業務に対する手当

| 制度の種類              | 課程・コース |                      | 従事手当の概要   |
|--------------------|--------|----------------------|-----------|
| ティーチング・アシスタント(T・A) | 博士前期課程 |                      | 年額6.6万円以内 |
| リサーチ・アシスタント(R・A)   | 博士課程   | がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン | 年額120万円以内 |
|                    |        | 上記以外                 |           |
|                    | 博士後期課程 |                      |           |

④2016年度の採用実績 (人数)

| 制度の種類              | 学科・専攻  |                      | 学年 |   |   |   | 計  |
|--------------------|--------|----------------------|----|---|---|---|----|
|                    |        |                      | 1  | 2 | 3 | 4 |    |
| ティーチング・アシスタント(T・A) | 博士前期課程 |                      | 1  | 0 | — | — | 1  |
| リサーチ・アシスタント(R・A)   | 博士課程   | がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン | 1  | 0 | 0 | 1 | 43 |
|                    |        | 上記以外                 | 13 | 9 | 7 | 4 |    |
|                    | 博士後期課程 |                      | 2  | 4 | 2 | — |    |
| 合計                 |        |                      |    |   |   |   | 44 |

<その他>

(1) 2016 年度の主な補助金の状況

①平成 28 年度私立大学等経常費補助金

| 区分   | 助成額(千円)              |
|--|----------------------|
| 一般補助   | 335, 209             |
| 特別補助<br>(うち私立大学等改革総合支援事業<br>タイプ3 産業界・他大学等との連携) | 112, 347<br>(8, 443) |

②研究装置・研究設備補助（大型機器）及びプロジェクト型研究助成補助金

| 制度   | 件数 | 助成額(千円) |
|--|----|---------|
| 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業                                    | 4  | 51, 508 |
| 私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費<私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費>） | 1  | 15, 000 |
| 大学改革推進等補助金（がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン）                     | 1  | 9, 793  |

③科学研究費助成事業（科学研究費補助金／学術研究助成基金助成金）※1

| 制度          | 種目         | 区分 | 人数 | 助成額(千円) |
|-------------|------------|----|----|---------|
| 科学研究費補助金    | 基盤研究(B)    | 新規 | 1  | 7, 150  |
|             |            | 継続 | 2  | 7, 930  |
|             | 研究活動スタート支援 | 新規 | 2  | 3, 120  |
|             |            | 継続 | 1  | 1, 430  |
|             | 特別研究員奨励費   | 新規 | 1  | 700     |
| 学術研究助成基金助成金 | 基盤研究(C)    | 新規 | 12 | 19, 110 |
|             |            | 継続 | 19 | 27, 300 |
|             | 挑戦的萌芽研究    | 新規 | 1  | 1, 170  |
|             | 若手研究(B)    | 新規 | 5  | 7, 930  |
|             |            | 継続 | 8  | 11, 960 |
| 合計          | —          | —  | 52 | 87, 800 |

※1： 2016 年度末時点で本学に在籍していた研究者が集計対象

## 2 事業の概要

### (1) 京都薬科大学第2期中期計画の終了

2012年度から開始された第2期中期計画は、2016年度に最終完成年度を迎えました。2016年度は、主に、①自立した学生の育成、②幅広い人材育成のための教育活動、③研究を通じた教育活動、④教育・研究活動を支える組織・制度を中心に積極的に推進しました。第2期中期計画は、推進項目毎に原則として「教育職員1名+事務職員1名」を基本ユニットとした推進担当者を配置し、年度初めに推進担当責任者会議を開催し、前年度のアクションプランの最終報告、当該年度のアクションプランの実施計画について報告を行い情報の共有と調整を図り、PDCAサイクルを廻し推進してきました。

2016年度中に成果を挙げた主な取り組みは、以下のとおりです。

#### ① 自立した学生の育成

##### ・学生ポートフォリオの導入

学生が目標設定を行い、経過確認、結果等を記録し、自身の振り返りのきっかけとなることを目的として、2016年度に1年次生及び2年次生を対象に学生ポートフォリオを導入しました。学生ポートフォリオとは、学生が目標達成のために何をすればよいか考え、利用するためのツールであり、自己の目標や学習計画に活用できるほか、学生生活の振り返りや進路選択時に役立つものです。学生ポートフォリオ用のバインダーを配布し、学生自身が個別シートに目標設定等を記録するとともに、本バインダーに各種レポート、講義等の課題、課外活動、ガイダンス資料などを記録することで、学生自身の振り返りにつながることを期待しています。

##### ・研究・課外活動優秀奨学金の新設

学生自らが行動することを評価する事業として、研究活動、課外活動、ボランティア活動などで他の学生の模範となり得る活動を行い、顕著な実績又は成果を挙げた者「研究・課外活動優秀奨学生」に対して、奨学金を支給する制度を新設しました。2017年度から開始され、募集人数は、約10名です。

##### ・授業料減免型奨学金の充実

昨今の経済的事情を考慮して、授業料減免型奨学金の支給をこれまでの在学中4回から在学中6回に拡充し、募集人数を30名に拡充しています。なお、本制度の適用については、2017年度から開始されます。

#### ② 幅広い人材育成のための教育活動

##### ・PROGテストトライアルの実施

大学卒業生として社会で求められる汎用的なジェネリックスキル（能力・態度・志向）を可視化し、客観的評価の指標を設けることで、教育成果の検証を行うことが可能となることから、2016年9月15日にPROGテストのトライアルを実施しました。PROGテストは、学力ではなく、社会で求められる問題発見・解決能力などの能力、態度、志向を測定するテストでリテラシーとコンピテンシーの2つがあります。2017年度から本格的に導入することを決定しています。

##### ・学生メンタルサポート体制の充実

近年、メンタルヘルスや心の教育の重要性が認識されており、大学生活への不適応により修学に支障をきたす学生は全国的に増加の一途をたどっています。本学では、2014年度に学生が利用しやすいと考えられる育心館に学生相談室を移転し、常設の臨床心理士を配置して、メンタルサポート体制の充実を図っています。その結果、相談受付件数は、2016年度は2013年度の約3倍の942件になりました。今後は、更なる対策を講じる必要があると考えられます。

##### ・多職種連携教育（IPE）の実施

多職種連携教育（IPE）の一環として、2016年12月20日に京都橘大学看護学部の学生と合同で、共通のシナリオ事例を用いて、それぞれの職種での向き合い方、薬剤師と看護師の協働介入について考える企画を実施しました。

- ・学部生短期留学支援奨学金の支給  
学部生短期留学支援奨学金としてMCPHS 大学（米国）に留学する学生 12 名、フライブルク大学（ドイツ）に留学する学生 11 名に対し奨学金を給付しました。
- ・大学院教育の充実  
大学院教育に関して、特論講義体系を整備し、それぞれの大学院生に適した基礎薬学系・臨床薬学系の内容を広くカバーできる科目構成を整備しました。
- ・教育改革推進事業（学長裁量経費）の推進  
2014 年度から教育改革推進事業（学長裁量経費）を開始し、教育改善の取組や教育活動における本学独自の特色ある取組に対して助成しています。2016 年度は、6 件(395.3 万円)の取組について採択しています。

### ③ 研究を通じた教育活動

- ・共同研究推進事業の展開  
学内共同研究を活性化させ、教育の充実及び質の向上並びに研究力強化を図るために、2016 年度に共同研究推進事業を創設しました。1 研究課題につき、1 年間で最大 500 万円を助成し、2016 年度は 2 件で 590 万円を助成しました。また、特色のある研究を推進するための事業について、2016 年度に事業に必要な教育研究用機器備品（スキャナータイプ画像解析装置、感染防止機能付クリオスタット）を購入しました。
- ・科学振興基金の制度改正  
科学振興基金の規程を改正し、挑戦的・萌芽的な研究に対し、研究奨励金として 1 件あたり 1 年間 100 万円を、また、これまでの研究業績に基づき今後大きな成果が見込める研究に対し、研究助成金として 1 件あたり原則 200 万円以内をそれぞれ助成することとしました。

### ④ 教育・研究活動を支える組織・制度

- ・SD活動の推進  
大学設置基準等の一部改正により、SD活動が義務化されたことに伴い、2016 年度はSD実施方針を制定し、SD推進委員会を設置しました。SD推進委員会において、SD実施計画、活動体系図、活動体系一覧を作成しました。
- ・京都工芸繊維大学との教職員研修に関する連携・協同に関する協定締結  
2016 年 8 月 5 日に、京都工芸繊維大学と相互の教職員の育成及び資質の向上等を図ることを目的として、「教職員研修に関する連携・協同に関する協定」を締結し、大学間連携による職員研修の相互活用を実施しました。

#### 【2016 年度職員研修実施一覧】

| 開催日                 | 研修内容               | 参加者数  |
|---------------------|--------------------|-------|
| 2016 年 7 月 4 日      | ハラスメント研修           | 117 名 |
| 2016 年 8 月 8 日      | 本学の内部質保証の取組等説明会    | 135 名 |
| 2016 年 8 月 25 日     | 学生との関わり方勉強会        | 124 名 |
| 2016 年 10 月 4 日     | ストレスチェック導入説明会      | 102 名 |
| 2016 年 10 月 31 日    | 評価者研修              | 10 名  |
| 2016 年 11 月 10 日    | コンプライアンス研修         | 117 名 |
| 2017 年 2 月 20 日     | 本学の教育の在り方に関する勉強会   | 99 名  |
| 2017 年 3 月 2 日      | ファシリテーション研修        | 110 名 |
| 2017 年 3 月 6 日・24 日 | 中堅職員研修             | 17 名  |
| 2017 年 3 月 10 日     | 初年次教育及び学生支援にかかる説明会 | 75 名  |

### (2) 第 3 期中期計画の策定

2016 年度で終了する第 2 期中期計画に続く第 3 期中期計画を策定するため、2016 年 11 月に第 3 期中期計画策定委員会が設置され、第 1 回中期計画策定委員会が開催されました。第 3 期中期計画の

策定にあたっては、理事長・学長・事務局長により「京都薬科大学マスタープラン 創立 150 周年への飛躍」が全職員に示され、1. 先端的研究の展開と教育への反映、2. 医療界の各領域でリーダーとなる人材を輩出する大学へ、3. 盤石な経営・財政基盤の構築、4. 教職協働による大学運営の 4 つの項目を推進することを目指します。現在、第 3 期中期計画策定委員会において、本マスタープラン及びワールド・カフェ（2016 年 7 月 9 日開催）で集約された意見を元に、第 3 期中期計画案を策定中です。

(3) 新学長の就任及び副学長の選任

2016 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日の 4 年間の任期で、後藤直正副学長が京都薬科大学長に就任しました。また、2016 年 4 月 1 日の理事会において、赤路健一教授が副学長に選任されました。

(4) グローバル人材の育成

・英語による卒業論文発表会の実施

グローバル化の進展に伴い、2013 年度から卒業論文発表会のポスター作成・発表・質疑応答を英語で実施しています。2016 年度の卒業論文発表会には、国際学術交流協定を締結（下記一覧参照）しているアレキサンドリア大学（エジプト）、マヒドール大学（タイ）、国立台湾大学（台湾）、国立成功大学、MCPHS 大学（米国）、カリフォルニア大学サンフランシスコ校（米国）の計 6 大学から 23 名の教員及び学生を招待しました。

・クリニカルリサーチマネジメントプログラムの実施

2016 年度から臨床開発業務について英語で学ぶ「クリニカルリサーチマネジメントプログラム（Clinical Research Management Program、以下 CRMP）」を本格的に開始しました。CRMP はパレクセル・インターナショナル株式会社との共同プログラムで、2017 年 1 月 23 日から 3 月 10 日までの 7 週間に亘って開催され、臨床開発業務のための英語（3 週間）、規制関連業務（1 週間）、臨床試験の実際（2 週間）、データマネジメント（1 週間）にプログラムが分けられ、18 名（男子 5 名、女子 13 名）が参加しました。全て英語で行われ、グループディスカッションの時間もあり、治験に関する実践的な知識が身につくほか、英語力を向上させる良い機会となっています。

・TOEIC テストの実施

現在、1 年次、3 年次、5 年次で TOEIC テストを実施しています。TOEIC テストの受験料は、本学負担です。

・大学院英語教育に関する英語セミナーの実施

2014 年度後期から実施している大学院英語教育に関する英語セミナーは、2016 年度は 8 回しました。

・大学院生海外留学助成金による留学支援

科学振興基金の大学院生海外留学助成制度に基づき、大学院生 1 名が米国のワシントン州立大学に留学しました。

・教育職員の海外留学支援

カリフォルニア大学デービス校（米国）に准教授 1 名、ユタ大学（米国）に講師 1 名がそれぞれ海外留学しています。

【本学との国際学術交流協定校一覧】

| 大学名                | 国名   | 締結年度 |
|--------------------|------|------|
| 瀋陽薬科大学             | 中国   | 2005 |
| マヒドール大学            | タイ   | 2012 |
| アレキサンドリア大学         | エジプト | 2013 |
| 国立台湾大学             | 台湾   | 2015 |
| MCPHS 大学           | 米国   | 2015 |
| カリフォルニア大学サンフランシスコ校 | 米国   | 2015 |
| 国立成功大学             | 台湾   | 2015 |

(5) 地域連携への取組み

・理科実験講座の開催

学生実習支援センターにおいて、地域の小学生を対象とした「理科実験講座」を、『山科区「人づくり」ネットワーク実行委員会』との協働で2011年度から毎年開催しています。その結果、京都市が普及推進に取り組んでいる「京都はぐくみ憲章」の2014年度実践推進者として本学が表彰を受けましたが、2016年度は、さらに本活動を実践継続していることが評価され、同憲章の制定10周年を記念した「2016年度実践継続推進者」として、表彰されました。また、2016年度の理科実験講座は、7月31日に開催し山科地区の児童120名が午前と午後の部に分かれ参加しました。

なお、2016年度に関しては、独立行政法人国立青少年教育振興機構が実施している「子どもゆめ基金」の助成を受けて実施しました。

・公開講座の開催

2016年10月22日開催の第22回公開講座は、山科区制40周年記念事業に協力して本学と京都市山科区役所の共同主催としました。食の安全・安心講習会と薬用植物園御陵園の見学会を実施して、51名が参加しました。

・生涯教育の充実

2012年度から本格的に生涯教育プログラムを開始し、2016年度で5年目を迎えました。これまでに多数の薬学関係者等が本プログラムに参加し、本学の生涯教育プログラムが認知されてきたことが窺えます。今後は、本学が有する薬学に関する学問的知識等を地域に還元することが求められています。

(6) 研究活動実績

・シンポジウム等の開催

2016年度は、本学主催のKPUシンポジウム（第7回）、KPU-OHP臨床医薬カンファレンス、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランに関するセミナーなど多くのシンポジウム等（下記一覧参照）を企画し開催しました。また、本学協定校から教員を招聘し英語による公開セミナーを開催しました。

・若手教員及び大学院生の学会等における受賞

若手教員や大学院生が国内外の学会等で合計18の賞を受賞するなど積極的に研究成果を発表し、高い評価を得ています。

【シンポジウム等実施一覧】

| 名 称  | 開 催 日                           |
|--|---------------------------------|
| 第7回 KPU シンポジウム   | 2016年4月28日                      |
| 公開セミナー（タイ・マヒドール大学）   | 2016年7月14日                      |
| 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業<br>新規分子標的治療薬創薬に向けた大学発ベンチャー基盤の確立<br>2016年度 Annual Meeting | 2016年9月28日                      |
| 第1回在宅薬剤業務セミナー  | 2016年9月29日                      |
| 第6回 4大学連携研究フォーラム   | 2016年12月7日                      |
| がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン<br>臨床薬学研究者養成セミナー                                      | 2016年6月4日                       |
| 卒後薬剤師セミナー がん分子標的治療薬  | 2016年11月27日                     |
| 市民公開講座 『乳がん』   | 2017年2月11日                      |
| KPU-OHP 臨床医薬カンファレンス  | 第4回 2016年6月8日<br>第5回 2016年11月9日 |

(7) 白衣授与式の開催

2016年4月8日に、創立130周年記念館にて、病院・薬局での実務実習を直前に控えた5年次生を対象に、医療人として、また本学の学生としての責任と自覚を再度認識してもらうことを目的として、今回初めて白衣授与式を開催しました。

(8) 競争的資金の獲得状況

・科学研究費補助金

平成 28 年度科学研究費助成事業については、新規及び前年度からの継続分を合わせると、合計採択件数は、52 件、交付総額は 87,800 千円でした。(2016 年度末時点で本学に在籍していた研究者が集計対象)。新規採択率 (21 件、38.9%) は、全大学中第 11 位で、薬学部を有する大学別では第 1 位で、全私立大学別では第 5 位でした。なお、若手比率では、全大学中第 6 位で、薬学部を有する大学別では第 2 位で、全私立大学別では第 5 位でした。

また、科学研究費助成事業の個別説明会を 2016 年 6 月 30 日に開催し、独立行政法人日本学術振興会から講師を招いて、「科研費」の最新の動向について講演が行われました。

・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

前年度からの継続分 4 件 (代表者：松田久司教授「優良和薬の確保・供給のための研究」、代表者：芦原英司教授「新規分子標的治療薬創薬に向けた大学発ベンチャー基盤の確立」、代表者：安井裕之教授「バイオメタルと生体反応の連関解明に基づいた疾患治療ファルマコメタロミクスの確立」、代表者：加藤伸一教授「生体内の微小環境情報に基づいた物性制御による環境応答型インテリジェントナノ DDS の創成」) の合計 4 件 (51,508 千円) を外部資金として獲得しています。

・その他の補助金

私立学校施設整備費補助金が 1 件 (15,000 千円)、大学改革推進等補助金 (がんプロフェSSIONAL 養成基盤推進プラン) が 1 件 (9,793 千円) の計 2 件の外部資金を獲得しています。

(9) 広報活動の推進

・広告看板の設置

大学の知名度向上及び志願者獲得を目的として、2013 年度に JR 山科駅、2014 年度に JR 大阪駅、2015 年度に JR 京都駅、JR 山科駅 (2 カ所目)、地下鉄山科駅に広告看板を設置しました。2016 年 4 月には、JR 東京駅構内に広告看板を設置し、東京を中心とした関東地域に対しても積極的な広報活動を展開しています。

・ホームページの全面リニューアル

本学のホームページの全面リニューアルを約 4 年ぶりに実施し、ステークホルダーズに向けて効果的、視覚的な情報発信を行っています。さらに受験生の利便性を高めるために、ホームページ内に受験生サイトを立ち上げました。

・大学広報の充実

KPUnews、大学案内等の広報誌を通じて、大学の情報を発信しつつ、また、ホームページを通じて最新の大学情報を積極的に学内外に向けて発信しています。

・入試広報活動の充実

入試広報活動として、指定校訪問、高校訪問、高等学校での講演及び模擬講義、新聞社などが主催する進学相談会、雑誌や新聞への広告掲載等を行っています。また、毎年、春、夏、秋にオープンキャンパスを開催し、大学紹介、施設見学、体験実習、相談会等を実施し、参加者数が増加傾向にあります。(下記参加者数一覧参照)

【オープンキャンパス参加者数一覧】

| 年度   | 2012 年度 | 2013 年度 | 2014 年度 | 2015 年度 | 2016 年度 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 参加者数 | 2,138 名 | 2,259 名 | 2,442 名 | 2,609 名 | 2,775 名 |

(10) 第 1 回日本薬学教育学会大会の開催

2016 年 8 月 27 日、28 日、本学にて「薬学教育の原点～Science、Art、Humanity～」をテーマとして、第 1 回日本薬学教育学会 (大会長：乾賢一名誉教授) が開催されました。本学会には、大学関係者のみならず医療現場や製薬企業などの 600 名を超える参加があり、盛会裏のうちに閉会しました。



(11) 第102回薬剤師国家試験の結果

2017年2月25日及び26日に、第102回薬剤師国家試験が実施されました。3月28日に合格発表があり、本学の実績は、新卒者合格率91.67%（出願者391名、受験者360名、合格者330名）、既卒者合格率75.86%（出願者31名、受験者29名、合格者22名）、新卒者と既卒者（旧4年制含む）を合わせた合格率88.66%（出願者435名、受験者397名、合格者352名）でした。全国平均は、新卒者合格率が85.06%で、既卒合格者が50.83%でした。（P9参照）

【薬剤師国家試験に向けた基本方針】

| 対象年次 | 基本方針   |
|------|--|
|      | 1. 薬学に関する基礎から実践まで、段階的に講義・演習・試験を行う<br>2. 基礎系科目を中心とした演習による学力強化およびきめ細やかな学修支援<br>3. 自己学修ができる環境整備（教材データベース、必須問題データベース等） |
| 4年次生 | 実務実習に向けた知識の整理と統合的理解（薬学総合演習）  |
| 5年次生 | 4年次までの学修内容と実務実習内容との統合（実務実習）  |
| 6年次生 | 実務実習の振り返りおよび薬学の総まとめ（前期：薬学演習；後期：アドバンスト薬学）   |

### 3 財務の概要

#### (1) 発行体格付け（旧長期優先債務格付け）

AA-（ダブルA マイナス） 方向性 安定的

本学は2004年8月R&I（株）格付け投資情報センター）より上記格付けを取得。

2016年度も格付けを更新し引続きAA-を維持しました。

#### (2) 財務概要経年比較

表1. 事業活動収支(2012～2014年度会計基準改正前)(単位：千円)

(単位：千円)

| 科目          | 2012年度      | 2013年度      | 2014年度      |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 学生生徒等納付金    | 4,270,341   | 4,266,754   | 4,368,600   |
| 手数料         | 102,015     | 105,904     | 96,641      |
| 寄付金         | 68,546      | 87,730      | 29,661      |
| 補助金         | 520,360     | 450,918     | 530,174     |
| 資産運用収入      | 140,342     | 155,951     | 172,954     |
| 資産売却差額      | 105,025     | 50,640      | 79,885      |
| 事業収入        | 40,005      | 35,932      | 42,116      |
| 雑収入         | 173,083     | 113,682     | 94,401      |
| 帰属収入合計      | 5,419,719   | 5,267,513   | 5,414,435   |
| 基本金組入額合計    | △ 1,306,314 | △ 1,695,427 | △ 1,608,275 |
| 消費収入の部合計    | 4,113,405   | 3,572,086   | 3,806,159   |
| 人件費         | 1,759,670   | 1,753,009   | 1,755,504   |
| 教育研究経費      | 1,700,832   | 1,893,519   | 2,074,252   |
| 管理経費        | 327,723     | 337,469     | 359,186     |
| 資産処分差額      | 5,302       | 183,416     | 131,168     |
| 徴収不能引当金繰入額  | 0           | 0           | 4,175       |
| 消費支出の部合計    | 3,793,529   | 4,167,414   | 4,324,287   |
| 当年度消費収支差額   | 319,875     | △ 595,328   | △ 518,128   |
| 前年度繰越消費収支差額 | 1,166,538   | 1,486,414   | 891,085     |
| 基本金取崩額      | 0           | 0           | 0           |
| 翌年度繰越消費収支差額 | 1,486,414   | 891,085     | 372,957     |

| 科目            | 2015年度    | 2016年度    |
|---------------|-----------|-----------|
| 学生生徒等納付金      | 4,298,150 | 4,244,977 |
| 手数料           | 88,067    | 89,671    |
| 寄付金           | 37,308    | 35,118    |
| 経常費等補助金       | 483,173   | 457,977   |
| 付随事業収入        | 40,514    | 41,214    |
| 雑収入           | 152,056   | 47,199    |
| 教育活動収入計       | 5,099,270 | 4,916,158 |
| 人件費           | 1,860,228 | 1,792,767 |
| 教育研究経費        | 2,002,046 | 2,050,825 |
| 管理経費          | 365,115   | 392,078   |
| 徴収不能額等        | 0         | 0         |
| 教育活動支出計       | 4,227,390 | 4,235,670 |
| 教育活動収支差額      | 871,880   | 680,487   |
| 受取利息・配当金      | 174,880   | 170,426   |
| その他の教育活動外収入   | 0         | 0         |
| 教育活動外収入計      | 174,880   | 170,426   |
| 借入金等利息        | 0         | 0         |
| その他の教育活動外支出   | 0         | 0         |
| 教育活動外支出計      | 0         | 0         |
| 教育活動外収支差額     | 174,880   | 170,426   |
| 経常収支差額        | 1,046,760 | 850,914   |
| 資産売却差額        | 50,088    | 0         |
| その他の特別収入      | 119,168   | 27,325    |
| 特別収入計         | 169,256   | 27,325    |
| 資産処分差額        | 14,123    | 95,115    |
| その他の特別支出      | 8,987     | 132       |
| 特別支出計         | 23,110    | 95,247    |
| 特別収支差額        | 146,146   | △67,922   |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 1,192,906 | 782,992   |
| 基本金組入額合計      | △ 845,523 | △ 620,105 |
| 当年度収支差額       | 347,382   | 162,886   |
| 前年度繰越収支差額     | 372,957   | 720,339   |
| 基本金取崩額        | 0         | 0         |
| 翌年度繰越収支差額     | 720,339   | 883,226   |

(参考)

|         |           |           |
|---------|-----------|-----------|
| 事業活動収入計 | 5,443,407 | 5,113,910 |
| 事業活動支出計 | 4,250,500 | 4,330,918 |

表2. 貸借対照表(2012～2014年度は会計基準改正前)

(単位: 千円)

| 科目<br>( ) は2012～2014年度                      | 2012年度     | 2013年度     | 2014年度     | 2015年度     | 2016年度     |
|---|------------|------------|------------|------------|------------|
| 固定資産  | 27,447,103 | 29,594,789 | 30,447,155 | 30,985,052 | 31,712,208 |
| 流動資産  | 3,349,280  | 2,278,331  | 2,471,954  | 3,122,619  | 3,143,758  |
| 資産の部合計                                      | 30,796,383 | 31,873,120 | 32,919,110 | 34,107,671 | 34,855,967 |
| 固定負債  | 913,409    | 911,468    | 914,948    | 911,067    | 900,578    |
| 流動負債  | 839,309    | 817,890    | 770,251    | 769,787    | 745,579    |
| 負債の部合計                                      | 1,752,719  | 1,729,358  | 1,685,200  | 1,680,854  | 1,646,158  |
| 基本金<br>(基本金の部合計)                            | 27,557,250 | 29,252,677 | 30,860,952 | 31,706,476 | 32,326,582 |
| 繰越収支差額<br>(消費収支差額の部合計)                      | 1,486,414  | 891,085    | 372,957    | 720,339    | 883,226    |
| 純資産の部合計                                     |            |            |            | 32,426,816 | 33,209,809 |
| 負債及び純資産の部合計<br>(負債の部、基本金の部及び<br>消費収支差額の部合計) | 30,796,383 | 31,873,120 | 32,919,110 | 34,107,671 | 34,855,967 |

## (3) 財務指標経年比較(2012~2014年度は会計基準改正前)

(単位: %)

| 区分                           | 比率<br>( )は2012~2014年度    | 計算式  |   | 2012<br>年度                       | 2013<br>年度 | 2014<br>年度 | 2015<br>年度 | 2016<br>年度 | ※     |      |
|------------------------------|--------------------------|--|---|----------------------------------|------------|------------|------------|------------|-------|------|
|                              |                          | 2012~2014年度                                    | 2015~2016年度   |                                  |            |            |            |            |       |      |
| 事業活動収支関係比率                   | 人件費比率                    | $\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$               | $\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$                    | 32.5                             | 33.3       | 32.4       | 35.3       | 35.2       | 42.1  |      |
|                              | 人件費依存率                   | $\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$           | $\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$                | 41.2                             | 41.1       | 40.2       | 43.3       | 42.2       | 64.6  |      |
|                              | 教育研究経費比率                 | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$            | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$                 | 31.4                             | 35.9       | 38.3       | 38.0       | 40.3       | 30.3  |      |
|                              | 管理経費比率                   | $\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$              | $\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$                   | 6.0                              | 6.4        | 6.6        | 6.9        | 7.7        | 17.8  |      |
|                              | 借入金等利息比率                 | $\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$            | $\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$                 | 0.0                              | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.2   |      |
|                              | 事業活動収支差額比率<br>(帰属収支差額比率) | $\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$  | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$        | 30.0                             | 20.9       | 20.1       | 21.9       | 15.3       | 10.3  |      |
|                              | 基本金組入後収支比率<br>(消費収支比率)   | $\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$              | $\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$ | 92.2                             | 116.7      | 113.6      | 92.4       | 96.4       | 108.3 |      |
|                              | 学生生徒等納付金比率               | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$          | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$               | 78.8                             | 81.0       | 80.7       | 81.5       | 83.5       | 65.1  |      |
|                              | 寄付金比率                    | $\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$               | $\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$                  | 1.3                              | 1.7        | 0.5        | 2.1        | 0.9        | 1.0   |      |
|                              | 経常寄付金比率                  |  | $\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$             |                                  |            |            | 0.7        | 0.7        | 0.7   |      |
|                              | 補助金比率                    | $\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$               | $\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$                  | 9.6                              | 8.6        | 9.8        | 9.7        | 9.2        | 6.9   |      |
|                              | 経常補助金比率                  |  | $\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$             |                                  |            |            | 9.2        | 9.0        | 6.2   |      |
|                              | 基本金組入率                   | $\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$            | $\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$               | 24.1                             | 32.2       | 29.7       | 15.5       | 12.1       | 17.2  |      |
|                              | 減価償却費比率                  | $\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$             | $\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$                  | 20.6                             | 19.1       | 20.6       | 19.7       | 20.8       | 13.2  |      |
|                              | 経常収支差額比率                 |  | $\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$                 |                                  |            |            | 19.8       | 16.7       | 9.4   |      |
|                              | 教育活動収支差額比率               |  | $\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$            |                                  |            |            | 17.1       | 13.8       | 8.0   |      |
|                              | 貸借対照表関係                  | 固定資産構成比率                                       | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$                    | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$ | 89.1       | 92.9       | 92.5       | 90.8       | 91.0  | 89.1 |
|                              |                          | 流動資産構成比率                                       | $\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$                    | $\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$ | 10.9       | 7.1        | 7.5        | 9.2        | 9.0   | 10.9 |
| 固定負債構成比率                     |                          | $\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$               | $\frac{\text{固定負債}}{\text{(総負債+純資産)}}$              | 3.0                              | 2.9        | 2.8        | 2.7        | 2.6        | 4.6   |      |
| 流動負債構成比率                     |                          | $\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$               | $\frac{\text{流動負債}}{\text{(総負債+純資産)}}$              | 2.7                              | 2.6        | 2.3        | 2.3        | 2.1        | 3.8   |      |
| 内部留保資産比率                     |                          | $\frac{\text{(運用資産-総負債)}}{\text{総資金}}$         | $\frac{\text{(運用資産-総負債)}}{\text{総資産}}$              | 48.6                             | 48.5       | 51.1       | 48.8       | 52.4       | 35.5  |      |
| 運用資産余裕比率(年)                  |                          | $\frac{\text{(運用資産-外部負債)}}{\text{消費支出}}$       | $\frac{\text{(運用資産-外部負債)}}{\text{経常支出}}$            | 4.3                              | 4.1        | 4.2        | 4.3        | 4.7        | 2.6   |      |
| 純資産構成比率<br>(自己資金構成比率)        |                          | $\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$               | $\frac{\text{純資産}}{\text{(総負債+純資産)}}$               | 94.3                             | 94.6       | 94.9       | 95.1       | 95.3       | 91.6  |      |
| 繰越収支差額構成比率<br>(消費収支差額構成比率)   |                          | $\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$             | $\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{(総負債+純資産)}}$            | 4.8                              | 2.8        | 1.1        | 2.1        | 2.5        | △ 2.6 |      |
| 固定比率                         |                          | $\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$              | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$                    | 94.5                             | 98.2       | 97.5       | 95.6       | 95.5       | 97.3  |      |
| 固定長期適合率                      |                          | $\frac{\text{固定資産}}{\text{(自己資金+固定負債)}}$       | $\frac{\text{固定資産}}{\text{(純資産+固定負債)}}$             | 91.6                             | 95.3       | 94.7       | 92.9       | 93.0       | 92.7  |      |
| 流動比率                         |                          | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$              | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$                   | 399.1                            | 278.6      | 320.9      | 405.6      | 421.7      | 284.3 |      |
| 総負債比率                        |                          | $\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$                | $\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$                     | 5.7                              | 5.4        | 5.1        | 4.9        | 4.7        | 8.4   |      |
| 負債比率                         |                          | $\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$               | $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$                     | 6.0                              | 5.7        | 5.4        | 5.2        | 5.0        | 9.1   |      |
| 前受金保有率                       |                          | $\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$               | $\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$                    | 541.9                            | 344.3      | 380.4      | 495.2      | 533.0      | 648.1 |      |
| 退職給与引当特定資産保有率<br>(退職給与引当預金率) |                          | $\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$ | $\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$          | 100.0                            | 100.0      | 100.0      | 100.0      | 100.0      | 83.3  |      |
| 基本金比率                        |                          | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$            | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$                 | 99.9                             | 99.8       | 99.8       | 99.9       | 100.0      | 98.8  |      |
| 減価償却比率                       |                          | $\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$     | $\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$          | 42.4                             | 41.1       | 43.9       | 43.2       | 45.9       | 48.2  |      |
| 積立率                          |                          |  | $\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$                   |                                  |            |            | 108.5      | 110.4      | 101.6 |      |

※2015年度の薬系単科大学の平均値

## (4) 財産目録

(単位：千円)

| 項目        | 2012年度     | 2013年度     | 2014年度     | 2015年度     | 2016年度     |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| I. 資産の部   | 30,796,383 | 31,873,120 | 32,919,110 | 34,107,671 | 34,855,967 |
| i. 固定資産   | 27,447,103 | 29,594,789 | 30,447,155 | 30,985,052 | 31,712,208 |
| ii. 流動資産  | 3,349,280  | 2,278,331  | 2,471,954  | 3,122,619  | 3,143,758  |
| II. 負債の部  | 1,752,719  | 1,729,358  | 1,685,200  | 1,680,854  | 1,646,158  |
| i. 固定負債   | 913,409    | 911,468    | 914,948    | 911,067    | 900,578    |
| ii. 流動負債  | 839,309    | 817,890    | 770,251    | 769,787    | 745,579    |
| III. 正味財産 | 29,043,664 | 30,143,762 | 31,233,910 | 32,426,816 | 33,209,809 |

(内 訳)

| 項目             | 2012年度     | 2013年度     | 2014年度     | 2015年度     | 2016年度     |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| I. 資産の部        |            |            |            |            |            |
| i. 固定資産        |            |            |            |            |            |
| (1)土地          | 1,562,232  | 1,730,738  | 1,730,738  | 1,730,738  | 1,730,738  |
| (2)建物          | 6,614,298  | 6,441,525  | 6,778,345  | 7,724,346  | 7,523,156  |
| (3)建物付属設備      | 2,457,180  | 2,179,199  | 2,192,746  | 2,275,395  | 2,028,700  |
| (4)構築物         | 771,180    | 747,423    | 872,725    | 1,122,485  | 1,049,760  |
| (5)機器備品及び図書    | 2,266,547  | 2,510,333  | 2,653,751  | 2,594,759  | 2,439,353  |
| (6)車両          | 1,599      | 1,199      | 399        | 0          | 0          |
| (7)電話加入権       | 2,229      | 2,229      | 2,229      | 2,229      | 2,229      |
| (8)教育研究用ソフトウェア | 29,699     | 27,396     | 40,885     | 28,556     | 19,663     |
| (9)その他のソフトウェア  | 19,103     | 17,237     | 10,333     | 6,294      | 2,989      |
| (10)保証金        | 3,000      | 3,000      | 3,000      | 3,000      | 3,000      |
| (11)出資金        | 4          | 4          | 4          | 4          | 4          |
| (12)奨学金貸付金     | 34,950     | 39,650     | 36,350     | 32,150     | 31,200     |
| (13)引当資産       | 12,286,022 | 13,273,573 | 15,958,207 | 15,465,093 | 16,881,412 |
| ii. 流動資産       |            |            |            |            |            |
| (1)現金預金        | 2,932,205  | 3,036,354  | 2,211,078  | 2,867,115  | 3,039,967  |
| (2)未収入金        | 130,991    | 253,301    | 184,598    | 165,370    | 18,932     |
| (3)前払金         | 53,631     | 59,624     | 76,278     | 90,133     | 84,858     |
| II. 負債の部       |            |            |            |            |            |
| i. 固定負債        |            |            |            |            |            |
| (1)退職給与引当金     | 937,116    | 913,409    | 906,819    | 907,003    | 898,545    |
| (2)長期未払金       | 0          | 0          | 8,128      | 4,064      | 2,032      |
| ii. 流動負債       |            |            |            |            |            |
| (1)未払金         | 221,160    | 246,789    | 160,228    | 132,022    | 105,994    |
| (2)前受金         | 610,476    | 560,301    | 581,229    | 578,944    | 570,324    |
| (3)預り金         | 22,855     | 32,218     | 28,793     | 58,819     | 69,260     |

## 4 理事会、常任理事会及び評議員会に関する事項

### (1) 理事会

| 年 月 日      | 議 事   | 結 果                                    |
|------------|---|--|
| 2016年4月1日  | <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事及び評議員の退任について</li> <li>2. 副学長、研究科長、部長及び館長等の選任について</li> <li>3. 名誉教授の称号授与について</li> </ol>   | 承認<br>承認<br>承認                         |
| 2016年4月21日 | <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事の就任について</li> <li>2. 常任理事の選任について</li> <li>3. 評議員選任の条項変更について</li> <li>4. 2016年度期末手当等の支給について</li> <li>5. 客員教授に対する報酬の支払いについて</li> <li>6. 京都薬科大学学長選考規則（案）について</li> <li>7. 京都薬科大学履修規程の一部改正（案）について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 進路の決定状況</li> </ol>   | 承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認 |
| 2016年5月23日 | <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2015年度学校法人京都薬科大学事業報告案及び2015年度学校法人京都薬科大学財務報告案について</li> </ol>   | 承認                                     |
| 2016年6月16日 | <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員人事について</li> <li>2. 学校法人京都薬科大学経理規則の一部改正（案）について</li> <li>3. 不動産（隣地）の購入について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 進路の決定状況について</li> <li>2. 山口理事の講演「厚労省が考えている薬局・薬剤師像<br/>～患者のための薬局ビジョンから～」</li> </ol>   | 承認<br>承認<br>承認                         |
| 2016年7月21日 | <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人京都薬科大学ストレスチェック制度実施規則（案）の制定について</li> <li>2. 学校法人京都薬科大学SD実施方針（案）及び京都薬科大学SD推進委員会要綱（案）について</li> <li>3. 学校法人京都薬科大学個人番号及び特定個人情報取扱規則の一部改正（案）について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学長報告（日本私立薬科大学協会）</li> <li>2. 予算の執行状況（第1四半期）について</li> <li>3. 進路の決定状況について</li> </ol> <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. マイナス金利下における資産運用について</li> </ol> | 承認<br>承認<br>承認                         |
| 2016年9月30日 | <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 京都薬科大学大学院学則の一部改正（案）について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第8回学生満足度調査報告について</li> <li>2. 2016年度オープンキャンパス実施結果報告について</li> <li>3. 進路の決定状況について</li> <li>4. 第1回日本薬学教育学会（2016年8月27日・28日開催）報告について</li> </ol> <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資産運用を取り巻く環境及び課題の整理について</li> </ol>   | 承認                                     |

|                    |  |  |
|--------------------|--|--|
| 2016年9月30日<br>(続き) | (資産運用におけるマイナス金利政策への対応)<br>2. 学校法人京都薬科大学ストレスチェック制度実施規則について<br>3. 京都薬科大学SD実施計画の概要について  |  |
| 2016年10月21日        | 報告事項<br>1. 予算の執行状況(第2四半期)について<br>2. 人見理事の講演<br>「薬学部と関連する企業の現状と将来について」  |  |
| 2016年11月25日        | 議題<br>1. 職員人事について<br>2. 学校法人京都薬科大学旅費規程の一部改正(案)について<br>3. 学校法人京都薬科大学教育職員海外留学取扱規則(案)の制定について<br>報告事項<br>1. 学長報告「米国大学経営・財務戦略事情の海外視察について」<br>2. 第2期中期計画について<br>その他<br>1. 資産運用を取り巻く課題の整理について   | 承認<br>承認<br>承認   |
| 2016年12月22日        | 議題<br>1. 学校法人京都薬科大学危機管理規則の一部改正(案)について<br>2. 2017年度法人業務行事予定(案)について<br>3. 京都薬科大学マスタープラン(案)について<br>報告事項<br>1. 学長報告(全国薬科大学長・薬学部長会議)<br>2. 進路の決定状況について  | 承認<br>承認<br>承認   |
| 2017年2月16日         | 議題<br>1. 職員人事について<br>2. 2016年度予算の執行状況(第3四半期分)について<br>3. 2016年度決算見込み及び2017年度予算原案について<br>4. 教育理念、教育目的の一部改正(案)について<br>5. 京都薬科大学学則の一部改正(案)について<br>6. 京都薬科大学大学院学則の一部改正(案)について<br>7. 学校法人京都薬科大学給付型及び授業料減免型奨学金規則の一部改正(案)について<br>8. 学校法人京都薬科大学教育職員海外留学取扱規則の一部改正(案)について<br>9. 学校法人京都薬科大学情報セキュリティポリシー(案)の制定について<br>10. 学校法人京都薬科大学情報セキュリティ委員会(仮称)要綱について<br>報告事項<br>1. 2017年度入学試験の出願状況<br>2. 進路の決定状況について | 承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認 |
| 2017年3月17日         | 議題<br>(1回目)<br>1. 職員人事について<br>2. 学校法人京都薬科大学クロス・アポイントメント制度取扱規則(案)の制定について<br>3. 学校法人京都薬科大学職員就業規則の一部改正(案)について<br>4. 学校法人京都薬科大学事務組織規則の一部改正(案)について<br>5. 京都薬科大学海外短期留学奨学金規則の一部改正(案)について<br>6. 第3期中期計画の重点項目及び策定スケジュールについて<br>(2回目)<br>1. 2017年度事業計画・予算(案)について<br>2. 2017年度学校法人京都薬科大学資金収支予算案及び2017年度学校法人京都薬科大学事業活動収支予算案について  | 承認<br>保留<br>保留<br>承認<br>承認<br>承認                         |

## (2) 常任理事会

| 年 月 日      | 議 事  | 結 果                  |
|------------|--|----------------------|
| 2016年4月12日 | 常任理事会決議事項<br>1. 教育職員の海外出張について<br>2. 京都薬科大学教員組織に関する規程の一部改正(案)について<br>理事会議案先議事項<br>1. 理事の就任について<br>2. 常任理事の選任について<br>3. 評議員選任の条項変更について<br>4. 2016年度期末手当等の支給について<br>5. 客員教授に対する報酬の支払いについて<br>6. 京都薬科大学学長選考規則(案)について   | 承認<br>承認             |
| 2016年5月13日 | 常任理事会決議事項<br>1. 職員人事について<br>2. 教育職員の海外留学について<br>3. 京都薬科大学貸与型奨学金規則の一部改正(案)について<br>4. 学校法人京都薬科大学永年勤続者祝金支給要綱(案)の一部改正について<br>理事会議案先議事項<br>1. 2015年度学校法人京都薬科大学事業報告案及び2015年度学校法人京都薬科大学財務報告案について<br>評議員会議案先議事項<br>1. 2015年度学校法人京都薬科大学事業報告案及び2015年度学校法人京都薬科大学財務報告案について<br>(評議員会報告事項)<br>1. 学長報告          | 承認<br>承認<br>承認<br>承認 |
| 2016年6月6日  | 常任理事会決議事項<br>1. 職員人事について<br>2. 教育職員の海外出張について<br>3. 学校法人京都薬科大学経理規則施行細則の一部改正(案)について<br>4. 学校法人京都薬科大学契約事務取扱要綱の一部改正(案)について<br>理事会議案先議事項<br>1. 職員人事について<br>2. 学校法人京都薬科大学経理規則の一部改正(案)について<br>理事会報告事項<br>1. 進路の決定状況について<br>2. 理事からの報告について   | 承認<br>承認<br>承認<br>承認 |
| 2016年7月12日 | 常任理事会決議事項<br>1. 教育職員・事務職員の海外出張について<br>2. 教育職員の海外留学について<br>3. 海外留学に係る支度料の支給について<br>4. 京都薬科大学SD実施方針(案)及び京都薬科大学SD推進委員会要綱(案)について<br>理事会議案先議事項<br>1. 学校法人京都薬科大学ストレスチェック制度実施規則(案)の制定について<br>理事会報告事項<br>1. 学長報告(日本私立薬科大学協会)<br>2. 予算の執行状況(第1四半期)について<br>3. 進路の決定状況について<br>その他<br>1. マイナス金利下における資産運用について | 承認<br>承認<br>承認<br>承認 |



|             |  |                      |
|-------------|--|----------------------|
| 2016年8月1日   | <p>常任理事会決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員人事について</li> <li>2. 教育職員の海外出張について</li> </ol>   | 承認<br>承認             |
| 2016年9月13日  | <p>常任理事会決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員人事について</li> <li>2. 赴任旅費の支給について</li> <li>3. 京都薬科大学教員組織に関する規程の一部改正（案）について</li> </ol> <p>理事会議案先議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 京都薬科大学大学院学則の一部改正（案）について</li> </ol> <p>理事会報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第8回学生満足度調査実施結果報告について</li> <li>2. 2016年度オープンキャンパス実施結果報告について</li> <li>3. 進路の決定状況について</li> <li>4. 第1回日本薬学教育学会大会（2016年8月27日・28日開催）報告について</li> </ol> <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資産運用を取り巻く環境および課題の整理について<br/>（資産運用におけるマイナス金利政策への対応）</li> <li>2. 学校法人京都薬科大学ストレスチェック制度実施規則について</li> <li>3. 京都薬科大学SD実施計画の概要について</li> </ol> | 承認<br>承認<br>承認       |
| 2016年10月5日  | <p>常任理事会決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員人事について</li> <li>2. 教育職員の海外出張について</li> </ol> <p>理事会報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予算の執行状況（第2四半期）について</li> <li>2. 人見理事の講演「薬学部と関連する企業の現状と将来について」</li> </ol>  | 承認<br>承認             |
| 2016年11月9日  | <p>常任理事会決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人京都薬科大学名義使用許可取扱要綱（案）の制定について</li> <li>2. 学校法人京都薬科大学旅費規程取扱要綱の一部改正（案）について</li> <li>3. 学校法人京都薬科大学科学振興基金規程の一部改正（案）について</li> </ol> <p>理事会議案先議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人京都薬科大学旅費規程の一部改正（案）について</li> <li>2. 学校法人京都薬科大学教育職員海外留学取扱規則（案）の制定について</li> </ol> <p>理事会報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学長報告「米国大学経営・財務戦略事情の海外視察について」</li> <li>2. 第2期中期計画について</li> <li>3. 進路の決定状況について</li> </ol> <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資産運用における課題の整理について</li> </ol>  | 承認<br>承認<br>承認       |
| 2016年12月13日 | <p>理事会議案先議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人京都薬科大学危機管理規則の一部改正（案）について</li> <li>2. 2017年度法人業務行事予定（案）について</li> </ol> <p>理事会報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学長報告（全国薬科大学長・薬学部長会議）</li> </ol>  | 承認<br>承認             |
| 2017年2月7日   | <p>常任理事会決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員人事について</li> <li>2. 京都薬科大学履修規程の一部改正（案）について</li> <li>3. 京都薬科大学大学院履修規程の一部改正（案）について</li> <li>4. 京都薬科大学給付型及び授業料減免型奨学金規則施行細則の一部改正（案）について</li> </ol> <p>理事会議案先議事項</p>  | 承認<br>承認<br>承認<br>承認 |

|                           |  |   |
|---------------------------|--|---|
| <p>2017年2月7日<br/>(続き)</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員人事について</li> <li>2. 2016年度予算の執行状況(第3四半期分)について</li> <li>3. 2016年度決算見込み及び2017年度予算原案について</li> <li>4. 教育理念、教育目的の一部改正(案)について</li> <li>5. 京都薬科大学学則の一部改正(案)について</li> <li>6. 京都薬科大学大学院学則の一部改正(案)について</li> <li>7. 京都薬科大学給付型及び授業料減免型奨学金の一部改正(案)について</li> <li>8. 学校法人京都薬科大学情報セキュリティポリシー(案)の制定について</li> <li>9. 学校法人京都薬科大学情報セキュリティ委員会(仮称)要綱(案)について</li> <li>10. 京都薬科大学マスタープランについて</li> <li>11. 第3期中期計画策定スケジュールについて</li> </ol> <p>理事会報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2017年度入学試験の出願状況</li> <li>2. 進路の決定状況</li> </ol>  | <p>承認<br/>承認<br/>承認<br/>承認<br/>承認<br/>承認<br/>承認<br/>承認<br/>承認<br/>承認<br/>承認</p> |
| <p>2017年3月6日</p>          | <p>常任理事会決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員人事について</li> <li>2. 京都薬科大学教員組織に関する規程の一部改正(案)について</li> </ol> <p>評議員会議案先議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2017年度事業計画・予算(案)について</li> <li>2. 2017年度学校法人京都薬科大学資金収支予算案及び2017年度学校法人京都薬科大学事業活動収支予算案について</li> </ol> <p>評議員会報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学長報告</li> </ol> <p>理事会議案先議事項<br/>(1回目)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員人事について</li> <li>2. 学校法人京都薬科大学クロス・アポイントメント制度取扱規則(案)の制定について</li> <li>3. 学校法人京都薬科大学就業規則の一部改正(案)について</li> <li>4. 学校法人京都薬科大学事務組織規則の一部改正(案)について</li> <li>5. 京都薬科大学海外短期留学奨学金規則の一部改正(案)について</li> <li>6. 第3期中期計画の重点項目及び策定スケジュールについて<br/>(2回目)</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2017年度事業計画・予算(案)について</li> <li>2. 2017年度学校法人京都薬科大学資金収支予算案及び2017年度学校法人京都薬科大学事業活動収支予算案について</li> </ol> | <p>承認<br/>承認</p>  |

(3) 評議員会

| 年 月 日             | 議 事  | 結 果                |
|-------------------|--|--------------------|
| <p>2016年5月23日</p> | <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2015年度学校法人京都薬科大学事業報告案及び2015年度学校法人京都薬科大学財務報告案について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学長報告</li> </ol>  | <p>了 承</p>         |
| <p>2017年3月17日</p> | <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2017年度事業計画・予算(案)について</li> <li>2. 2017年度学校法人京都薬科大学資金収支予算案及び2017年度学校法人京都薬科大学事業活動収支予算案について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学長報告</li> </ol> | <p>了 承<br/>了 承</p> |